

平成22年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年8月5日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 エストアー

コード番号 4304 URL <http://Estore.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 石村 賢一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員 CC担当 (氏名) 柳田 要一

TEL 03-3595-1106

四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	890	13.5	141	29.6	141	30.1	83	49.1
21年3月期第1四半期	784	—	108	—	109	—	55	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	1,794.95	—
21年3月期第1四半期	1,195.51	—

(注)22年3月期第1四半期における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、期中平均株価が新株予約権の行使価格より低く、1株当たり四半期純利益が希薄化しないため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	2,869	1,365	47.6	30,449.22
21年3月期	2,814	1,476	52.5	31,643.16

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 1,364百万円 21年3月期 1,476百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	1,550.00	1,550.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

当社の属するインターネット業界は環境の変化が激しく、業績の見通しにつきましては数値の精度に対する確証が得られないため、合理的な予測が困難であることから、業績予想について記載しておりません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔注〕詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	51,636株	21年3月期	51,636株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	6,811株	21年3月期	4,982株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第1四半期	46,317株	21年3月期第1四半期	46,654株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

該当事項はありません。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当事業年度は、これまでお伝えさせていただきましたとおり、引き続き積極的な事業投資を行っております。当第1四半期における事業投資の内容としては、① 店舗の増加を目指した積極的施策、② 店舗への消費者接続の強化の2点です。①については、大きな戦略変更はしないものの、必要な宣伝広告の強化と効率化を行っており、現在行っている営業手法の範囲内では、2年に亘る最適化の結果として、大きな広告宣伝費の投下が不要な状況になっています。②に関しては、ショッピングフィールドによる店舗への送客ならびに、それによる流通額の発生とともに、順調な拡大を続けております。また、SEOやPPCを活用した店舗への消費者の直接接続については、その拡大のための準備に充てた期間となります。以上の2点のほか、③ サービス自体の高速安定供給を図るための「サービスインフラの効率化、安定化」を中心に施策を進めており、第2四半期までに安定化と高速化の改修を完了し、今期行ってきている①、②の施策に伴う第2四半期以降の一層のトラフィック増大に備える方針です。

以上の結果、当第1四半期会計期間における売上高は890,691千円(前年同期比13.5%増)、営業利益は141,041千円(前年同期比29.6%増)となりました。経常利益につきましては141,943千円(前年同期比30.1%増)となり、当四半期純利益は83,136千円(前年同期比49.1%増)となりました。なお、四半期純利益の増加要因には、前年同期に特別損失として投資有価証券評価損13,596千円を計上したものが影響し、前年同期と比較して大幅な増加となっております、これを差し引いた場合には、前年同期比30.0%前後の増加となります。

前事業年度末に、大株主の異動があり、株式会社SBR(平成21年4月1日付で株式会社テレウェイヴより商号変更)の保有する株式15,491株のうち13,800株がヤフー株式会社に異動しましたが、残数1,691株につきまして、6月に自己株式として取得し、当第1四半期会計期間末での当社の自己株式保有数は6,811株となりました。

第2四半期以降につきましては、今期の方針である「引き続きの積極的事业投資」をもとに、財務資産を有効活用し、将来の利益に組み込んでゆく先行投資をより一層進めていく予定です。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりです。

(サービス事業)

当第1四半期会計期間のサービス事業の売上は773,526千円(構成比86.8%)となり、その主な内訳は、オプションを含め「ショップサーブ」416,412千円、「レンタルサーバー」267,197千円、「ストアツール」41,364千円となっております。

(受託事業)

当第1四半期会計期間の受託事業の売上は117,165千円(構成比13.2%)となり、その主な内訳は、平成16年7月の株式会社SBRとの業務提携に基づく同社グループの技術部門の業務(ITサービスの構築と運営)受託と、OEMによる供給を行ったことによるものです。

(主要サービス別契約件数の四半期推移)

Eコマース用レンタルサーバー件数推移 (サイトサブ)

	平成21年3月期 第1四半期	平成21年3月期 第2四半期	平成21年3月期 第3四半期	平成21年3月期 第4四半期	平成22年3月期 第1四半期
新規契約件数	168	161	166	191	152
(内 直販件数)	(66)	(55)	(66)	(82)	(55)
(内 代理店販売件数)	(102)	(106)	(100)	(109)	(97)
解約件数	933	902	804	872	856
(内 直販件数)	(283)	(265)	(249)	(239)	(249)
(内 代理店販売件数)	(650)	(637)	(555)	(633)	(607)
累計件数	17,312	16,571	15,933	15,252	14,548
(内 直販件数)	(5,180)	(4,970)	(4,787)	(4,630)	(4,436)
(内 代理店販売件数)	(12,132)	(11,601)	(11,146)	(10,622)	(10,112)

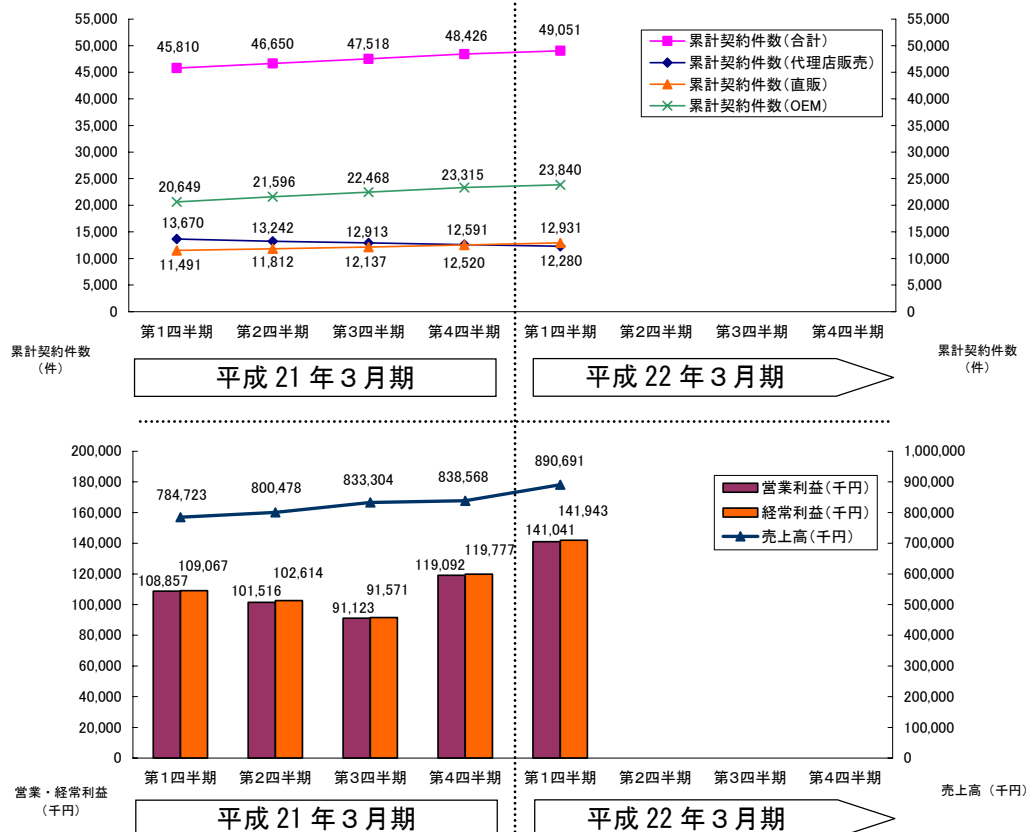
ショッピングカートASP件数推移 (ストアツール)

	平成21年3月期 第1四半期	平成21年3月期 第2四半期	平成21年3月期 第3四半期	平成21年3月期 第4四半期	平成22年3月期 第1四半期
新規契約件数	16	16	10	10	9
(内 直販件数)	(14)	(13)	(10)	(10)	(6)
(内 代理店販売件数)	(2)	(3)	(0)	(0)	(3)
解約件数	115	79	71	65	75
(内 直販件数)	(80)	(52)	(57)	(40)	(52)
(内 代理店販売件数)	(35)	(27)	(14)	(25)	(23)
累計件数	1,236	1,173	1,112	1,057	991
(内 直販件数)	(796)	(757)	(710)	(680)	(634)
(内 代理店販売件数)	(440)	(416)	(402)	(377)	(357)

ウェブショップ総合支援件数推移 (ショップサブ)

	平成21年3月期 第1四半期	平成21年3月期 第2四半期	平成21年3月期 第3四半期	平成21年3月期 第4四半期	平成22年3月期 第1四半期
新規契約件数	1,087	1,061	1,110	1,198	1,309
(内 直販件数)	(907)	(864)	(900)	(916)	(999)
(内 代理店販売件数)	(180)	(197)	(210)	(282)	(310)
解約件数	312	348	405	397	436
(内 直販件数)	(256)	(280)	(337)	(342)	(345)
(内 代理店販売件数)	(56)	(68)	(68)	(55)	(91)
累計件数	5,520	6,233	6,938	7,739	8,612
(内 直販件数)	(4,430)	(5,014)	(5,577)	(6,151)	(6,805)
(内 代理店販売件数)	(1,090)	(1,219)	(1,361)	(1,588)	(1,807)

(契約件数と売上・利益の四半期推移)



2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末における総資産は2,869,141千円となり、前事業年度末比で54,613千円増加いたしました。

当第1四半期会計期間における財政状態の変動状況は次のとおりです。

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産の残高は、前事業年度末比で54,613千円増加し、2,869,141千円となりました。これは主に、ソフトウェア開発等による無形固定資産の増加35,591千円、サーバー等の購入に伴う器具及び備品の増加(純額)10,622千円、売上高増加に伴う売掛金の増加17,862千円によるものです。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債の残高は、前事業年度末比で165,834千円増加し、1,504,083千円となりました。これは主に、当社顧客の決済代行額増加に伴う預り金の増加133,297千円、サーバー等の購入に伴う未払金の増加19,767千円、未払法人税等の減少21,958千円によるものです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末比で111,221千円減少し、1,365,058千円となりました。これは、当第1四半期純利益として83,136千円を計上したものの、平成21年3月期の配当金72,313千円と平成21年6月の自己株式取得121,128千円があったことによります。これにより自己資本比率は47.6%(前事業年度末比4.9ポイント減)となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末比で11,718千円減少し、1,546,361千円(前事業年度末比0.8%減)となりました。

当第1四半期会計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期会計期間における営業活動による資金の増加は、208,746千円(前年同期は81,472千円の増加)となりました。これは主に、税引前四半期純利益141,544千円、当社顧客の決済代行額増加に伴う預り金の増加133,297千円、法人税等の支払に伴う減少67,541千円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期会計期間における投資活動による資金の減少は、63,375千円(前年同期は27,737千円の減少)となりました。これは主に、ソフトウェア開発による無形固定資産の取得に伴う支出48,647千円と、オフィスの増床に伴う敷金増加による支出10,262千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期会計期間における財務活動による資金の減少は、157,085千円(前年同期は56,422千円の減少)です。これは、自己株式の取得に伴う支出121,128千円と、配当金の支払額35,957千円によるものです。

3. 業績予想に関する定性的情報

当社の属するインターネット業界は環境の変化が激しく、業績の見通しにつきましては数値の精度に対する確証が得られないため、合理的な予測が困難であることから、業績予想について記載しておりません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一般債権の貸倒見積額の算定方法

当第1四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,546,361	1,558,080
売掛金	396,208	378,345
原材料及び貯蔵品	6,538	5,524
前渡金	5,551	4,218
その他	104,225	113,040
貸倒引当金	△5,233	△4,916
流動資産合計	2,053,651	2,054,292
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品 (純額)	183,957	173,334
その他 (純額)	9,089	8,155
有形固定資産合計	193,046	181,490
無形固定資産	202,990	167,398
投資その他の資産		
投資有価証券	281,027	283,262
敷金	103,404	93,142
その他	45,020	44,941
貸倒引当金	△10,000	△10,000
投資その他の資産合計	419,453	411,347
固定資産合計	815,490	760,236
資産合計	2,869,141	2,814,528
負債の部		
流動負債		
買掛金	100,629	89,380
未払金	119,172	99,404
未払法人税等	48,413	70,372
賞与引当金	28,693	43,241
前受金	109,728	116,202
預り金	1,030,600	897,302
その他	66,845	22,344
流動負債合計	1,504,083	1,338,248
負債合計	1,504,083	1,338,248

(単位:千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	523,328	523,328
資本剰余金	539,408	539,408
利益剰余金	1,095,552	1,084,729
自己株式	△782,244	△661,116
株主資本合計	1,376,045	1,486,350
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△11,159	△10,070
評価・換算差額等合計	△11,159	△10,070
新株予約権	172	—
純資産合計	1,365,058	1,476,280
負債純資産合計	2,869,141	2,814,528

(2) 【四半期損益計算書】
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	784,723	890,691
売上原価	378,690	477,202
売上総利益	406,033	413,489
販売費及び一般管理費	297,175	272,447
営業利益	108,857	141,041
営業外収益		
受取利息	90	1,129
雑収入	144	233
営業外収益合計	235	1,363
営業外費用		
自己株式取得費用	—	316
雑損失	26	144
営業外費用合計	26	460
経常利益	109,067	141,943
特別損失		
投資有価証券評価損	13,596	398
特別損失合計	13,596	398
税引前四半期純利益	95,471	141,544
法人税、住民税及び事業税	17,715	46,890
法人税等調整額	21,979	11,517
法人税等合計	39,695	58,407
四半期純利益	55,775	83,136

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	95,471	141,544
減価償却費	22,445	28,936
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	150	316
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△12,914	△14,548
受取利息及び受取配当金	△104	△1,129
為替差損益 (△は益)	△9	3
株式報酬費用	—	172
投資有価証券評価損益 (△は益)	13,596	398
売上債権の増減額 (△は増加)	△12,872	△24,337
仕入債務の増減額 (△は減少)	7,737	9,916
未払金の増減額 (△は減少)	△26,237	△3,203
預り金の増減額 (△は減少)	94,966	133,297
その他の資産の増減額 (△は増加)	△7,583	△1,979
その他の負債の増減額 (△は減少)	△9,521	6,837
小計	165,123	276,227
利息及び配当金の受取額	104	60
法人税等の支払額	△83,755	△67,541
営業活動によるキャッシュ・フロー	81,472	208,746
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△19,490	△4,466
無形固定資産の取得による支出	△1,316	△48,647
関係会社株式の取得による支出	△6,930	—
貸付けによる支出	△8,000	—
貸付金の回収による収入	8,000	—
敷金の差入による支出	—	△10,262
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,737	△63,375
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△121,128
配当金の支払額	△56,422	△35,957
財務活動によるキャッシュ・フロー	△56,422	△157,085
現金及び現金同等物に係る換算差額	9	△3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,676	△11,718
現金及び現金同等物の期首残高	1,386,184	1,558,080
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,383,507	1,546,361

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成21年6月1日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規程により読み替えて適用される同法第156条の規程に基づき、自己株式取得に係る事項を決議し、平成21年6月2日に自己株式138株を取得しました。

また、平成21年6月9日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規程により読み替えて適用される同法第156条の規程に基づき、自己株式取得に係る事項を決議し、平成21年6月10日に自己株式1,691株を取得しました。

その結果、自己株式が121,128千円増加し、当第1四半期会計期間末において自己株式は782,244千円となりました。